

[概要]

本研究では、参政党の Instagram アカウントを事例として、政党が SNS 上で戦略的に政治的な情報発信を行う際の政党本部および地方支部を含む政党組織全体の政治行動に着目した。具体的には、それぞれの情報発信の類似点および相違点を分析することで、政党本部と地方支部が連動して政治行動を展開する意義について考察した。

分析にあたっては、投稿内容をテキスト分析ツール「KH Coder」を用いて整理するとともに、投稿に付随するハッシュタグの出現傾向を年次ごとに検討した。

分析の結果、政党本部および地方支部の SNS アカウントにおいて、年次ごとに発信内容を変化させている点が共通して確認された。特に 2024 年および 2025 年には、党のキャッチフレーズを頻繁に用いた情報発信が行われていた。一方で、相違点として、政党本部では党代表の名前を中心とした発信が継続的に行われているのに対し、地方支部では投稿開始当初は党代表の名前を発信していたものの、2024 年頃からは当該支部の選挙区における候補者の名前を発信する傾向へと変化していった。

これは政党本部と地方支部が SNS 上で互いに類似した行動をとりつつも、発信の軸に関して地方支部は地域に根ざした発信に切り替えることで、政党本部と地方支部でのアカウントのフォロワーや投稿に付随する「いいね」数などを通して、社会全体に党の価値意識が共有されていく可能性がある。

キーワード: ソーシャルメディア, 選挙, 政党本部, 地方支部